

特別支援教育のススメ Vol.3



特別支援教育指導力向上研修の取組

特別支援教育指導力向上研修は、熊本市を除く公立の小中学校の通常の学級担任及び高等学校の教員を対象とした研修で、平成27年度から4年間をかけて実施する悉皆研修です。昨年度は、熊本地震のために中止しましたが、今年度は、7月下旬～8月中旬にかけ県内11地域で実施し、約2000人の先生方が受講しました。地域特別支援連携協議会が中心に運営を行い、研修の講師は、各地区の特別支援学校や小中学校の専門性が高い教員が務めました。

本研修は、発達障がいをはじめ、教育上特別な支援の必要な児童生徒に対する指導力の向上と支援体制の充実を図ることを目的としています。午前中は、発達障がいに関する基礎的知識や支援方法について学び、午後からは個別の教育支援計画の作成に係る演習を行いました。

本研修で学んだことを2学期以降の教育実践に生かすとともに、子供一人一人の教育的ニーズに対応できる指導力の更なる向上が図られることを期待しています。



全体研修の様子



個別の教育支援計画
作成演習の様子



個別の教育支援計画
作成後の情報共有の様子

【受講者の研修満足度】

	ニーズへの対応	内容の満足度	今後の教育活動への活用度
高く評価・概ね評価	88.5%	89.4%	91.9%



理論を学んだ後に具体的な実践例の紹介や作成演習があり、多くの学びがありました。(中学校の先生の感想)

学級担任をする上で、特別支援教育についての研修を受けたいと思っていたため、よい機会でした。(高校の先生の感想)



今年度受講した先生は、12月までに研修報告書の作成をお願いします。